

# 四国歯学会 第 63 回例会 プログラム

日時:2024 年 3 月 20 日(祝・水)14:00 より

講演会場:徳島大学歯学部講堂(3 階)

+リアルタイム配信(Zoom)

ポスター会場:セミナー室(3 階)

## 四国歯学会

※ 日本歯科医師会生涯研修事業の単位に認定されております。

四国歯学会員で自宅等でのリアルタイム配信を視聴される方は、**3/18(月)**までに四国歯学会 HP 上の登録フォームからご登録下さい。**3/19(火)**頃参加用 URL、ミーティング ID やパスワードをご連絡させていただきます。生涯研修の単位を希望される方は、登録フォームに氏名と6桁の IC カード番号を必ず記載して下さい。(現地で視聴される方は IC カードリーダーを設置しております。)

尚、ZOOM 参加にて生涯研修単位登録をご希望の先生は、当日例会終了後に、ZOOM 画面に表示されますアンケートにご回答頂くよう、よろしくお願いたします。アンケート回答と視聴ログ確認をもって、研修単位の手続きを行います。

※ 大学院先端口腔科学特論の時間数に含まれます。履修手帳をご持参下さい。

## 連絡先

四国歯学会学術担当

徳島大学大学院医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野

湯本 浩通, 板東美香

TEL 088(633)7344

E-mail: banchi@tokushima-u.ac.jp

## ポスター閲覧・討論

- 9:00 – 16:30      ポスター展示(前日夕方からポスター掲示)  
13:30 – 13:50      ポスター討論

## ポスター演題

- P-1** 唾液腺導管結紮モデルマウスの組織修復過程の検討  
○杉本龍星<sup>1</sup>, ○藤田真里杏<sup>1</sup>, 加納史也<sup>2</sup>, 橋本 登<sup>2</sup>, 山本朗仁<sup>2</sup>  
1 徳島大学 歯学部歯学科 3年  
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部 組織再生制御学
- P-2** 専門的口腔衛生管理によりインプラント周囲粘膜の違和感が改善した1症例  
○天羽紗生<sup>1</sup>、武川香織<sup>1</sup>、藤田 晶帆<sup>1</sup>、福本仁美<sup>1</sup>、清野方子<sup>1</sup>、佐原久美子<sup>1</sup>、  
西川泰史<sup>2</sup>、川野弘道<sup>2</sup>、友竹偉則<sup>2</sup>、市川哲雄<sup>3</sup>  
1 徳島大学病院医療技術部  
2 徳島大学病院口腔インプラントセンター  
3 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野
- P-3** 高グルコース培養したヒト歯肉線維芽細胞に Candidalysin 誘導性 ROS がもたらす影響について  
○西川泰史<sup>1</sup>、川野弘道<sup>1</sup>、友竹偉則<sup>1</sup>、湯本浩通<sup>2</sup>、市川哲雄<sup>3</sup>  
1 徳島大学病院口腔インプラントセンター  
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野  
3 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野<sup>3)</sup>
- P-4** *Porphyromonas gingivalis* 由来外膜小胞(OMVs)が骨芽細胞に及ぼす影響  
○仲村大輔, 植村勇太、岩田泰億、稲垣裕司、湯本浩通  
徳島大学大学院医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野 大学院 2年

# 四国歯学会第 63 回例会

14:00 開会の辞 馬場 麻人 会長

## 特別講演

座長 馬場 麻人

14:05 ~ 14:45 「免疫難病の新たな病態と治療戦略」  
(質疑応答含む) 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野  
石丸 直澄 教授

## 基礎系教育講演

座長 片岡 宏介

14:50 ~ 15:20 「歯科に役立つメディカルアロマセラピー 基礎編」  
(質疑応答含む) 徳島大学大学院医歯薬学研究部 予防歯学分野  
三木 かなめ

## 臨床指導講演

座長 湯本 浩通

15:25 ~ 15:45 「患者さんの笑顔を引き出すホワイトニング  
(質疑応答含む) ー徳島大学病院むし歯科における取り組みー」  
徳島大学大学院医歯薬学研究部 再生歯科治療学分野  
細川 育子

15:50 ~ 16:10 「有望者歯科診療の UP DATE  
(質疑応答含む) ー10 年前の知識で抜歯していませんか?ー」  
徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔外科学分野  
工藤 景子

## 一般講演

座長 湯本 浩通

16:15 ~ 16:25 整形外科インプラント手術における周術期口腔機能管理の有効性の検討  
(質疑応答含む) ○浪花耕平<sup>1</sup>, 金川裕子<sup>2</sup>, 小野信二<sup>2</sup>, 西田真理<sup>1</sup>, 大山博行<sup>1</sup>, 可児  
耕一<sup>1</sup>, 桃田幸弘<sup>1</sup>, 高野栄之<sup>2</sup>, 青田桂子<sup>1, 2</sup>  
1 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔内科学分野  
2 徳島大学病院口腔管理センター

## 注意事項

### ●ポスター発表について

- ・ポスターの大きさ 横 90cm×縦 130cm

演題番号（横 20cm×縦 20cm）は大会側で用意（左上端）

演題名・発表者名（発表者の前に○印を記入）・所属は、演題番号の右側の横 70cm×縦 20cm の範囲に記載

- ・進行について

9：00－16：30 ポスター展示(前日夕方から掲示)

13：30－13：50 ポスター討論

（発表者はリボンをつけて、ポスターの前に立ってください。）

この時間は、閲覧者の質疑応答に答えてください。

- 特別講演は 講演時間 30 分，討論時間 10 分とします。

- 基礎系教育講演は 講演時間 20 分，討論時間 10 分とします。

- 臨床指導講演は 講演時間 15 分，討論時間 5 分とします。

- 一般講演は 講演時間 8 分，質疑応答 2 分とします。

- 講演，発表方法について

- ・発表は液晶プロジェクター，単写とします。

- ・Microsoft 社の Power Point を用いてスライドを作成してください。

- ・コンピューター（Windows PC と Mac）は発表者が御用意下さい。

- ・当日 3 月 20 日（水）13：00～14：00 の間に，必ず動作確認を行ってください。

- ポスター発表・一般講演者は，発表後 4/5（金）までに 400 字程度の抄録を四国歯学会学術担当の板東 ([banchi@tokushima-u.ac.jp](mailto:banchi@tokushima-u.ac.jp))宛てにメールでご送付下さい。

